

紙版 ハコブネ×ブックス vol.58

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐ web サイトです。



セントエルモの光
久閑野高校天文部の、春と夏

作者 天川栄人
出版社 講談社
発行 2023年4月
ISBN 978-4065314388

review



同じ教室で机を並べているので、**宇宙の孤独**を感じてしまうものです。誰ともわかりあえず、この**宇宙に一人きり**なのだという寂しさを誰もが持て余しています。ジュニア・ブラウンもまた孤独に苛まれた怒れる少年でした。児童文学やYA作品は、子どもたちの**宇宙的孤独**を描き出します。万有引力は、**引き合う孤独の力**です。百ワットの弱い光でも人を照らす太陽になれます。かつての詩人たちはそう教えてくれました。自分もまた**ポラリス**（北極星）になれるのか。物語は覚悟を決めた**宇宙のみなしご**たちが、自分のスタンスを見つげ出し、共感できる仲間たちと手をつなぐ姿を見せてくれます。

SNSの匿名のアカウントから送られた**悪意のあるメッセージ**をきっかけに、都会での中学校生活が上手くいかなくなってしまった高校一年生の女子、安齋えるもは、高校入学と同時に小学生まで過ごしていた田舎町に戻ってきました。無理して社交的にふるまいますが、人から傷つけられた経験から、**えだち**とは**警戒心を募らせて**います。友だちといつも一緒にいても**独りぼっち**なのです。どこかのクラブに入部するかを決めかねていた、えるもは、顧問の先生に天文部に誘われ、**宇宙人と呼ばれている**変わり者の先輩、嵐士と知り合います。無理をして周囲と合わせている、えるもに、**孤独であること**を意に介していない嵐士の生き方と、彼の胸中にあるものが響きます。**互いに引き合う力**によって影響を与えあい、進む道を変えていける人間の繋がりや物語は示唆します。



境界のポラリス

作者 中島空
出版社 講談社
発行 2021年10月
ISBN 978-4065257616

review



仲の良い友だちたちと華やかな高校生活を送りながらも、恵子が**孤独感**を抱いてしまうのは、**自分をフツ**の日本人ではないかと思っているからです。実際、恵子は中国籍であり、幼い頃に日本にきて、母親の再婚によって、吉田恵子という日本人の姓名を名乗るようになりまし。中国人であることで、過去にいじめられた経験から、高校ではそのことを隠し通しているものの、どこか居場所がない**疎外感**と、自分が何者でもない**焦燥感**に苛まれています。そんな折、外国からきた子どもたちが夜間学校で日本語を学ぶ姿を目にし、その学習をサポートすることに。その恵子は、苦勞して日本語を身につけたプロセスを辿り、**自分を再発見**していきます。恵子が周囲に振り回されず、天体の中心で**ポラリス**として輝く**自分の座標**を見出していく軌跡が描かれます。

二十世紀末。あの大言が警告する**世界が滅ぶ**終末の時に備えて、**みんなを救う宇宙船**の絵を描き続ける青年と、仲間から離れて学校で一人きりの少女。宇宙のみなしごたちは、**つながる**ことで救済されるのか。宇宙の**孤独**と向きあい、**それを越えていく子どもたち**を見守ってください。

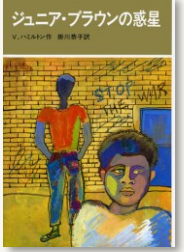
特集
宇宙の孤独と向き合うために



つきのふね (森絵都) 講談社 1998年

特集 宇宙の孤独と向き合うために

同じ教室で机を並べているので、**宇宙の孤独**を感じてしまうものです。誰ともわかりあえず、この**宇宙に一人きり**なのだという寂しさを誰もが持て余しています。ジュニア・ブラウンもまた孤独に苛まれた怒れる少年でした。児童文学やYA作品は、子どもたちの**宇宙的孤独**を描き出します。万有引力は、**引き合う孤独の力**です。百ワットの弱い光でも人を照らす太陽になれます。かつての詩人たちはそう教えてくれました。自分もまた**ポラリス**（北極星）になれるのか。物語は覚悟を決めた**宇宙のみなしご**たちが、自分のスタンスを見つげ出し、共感できる仲間たちと手をつなぐ姿を見せてくれます。



ジュニア・ブラウンの惑星
ヴァージニア・ハミルトン
岩波書店 1988年



無価値のポラリス

作者 キム・ミンソ
翻訳者 岩井理子
出版社 静山社
発行年 2025年10月
ISBN 978-4863899100

review



中学三年生の男子、アン・ユルは、**人間関係は戦略**だと考えていました。自分が上手く立ちまわること、教室内で平穩に過ごすことができるもの、調子良く人と話を合せている。親しみを感じることもないまま、アン・ユルは**孤独**を深めていきました。そんな彼が同学年の別クラスの男子、イ・ドへと出会います。社交辞令が通じないドへは変わり者で、クラスでも浮き上がった存在のようです。その孤独癖に自分と共通するものを感じたユルは、密かに交流を続けながら、言葉を交わしていきます。自分のことを**ポラリス**と呼ぶというドへの言葉の真意にユルが気づくには時間がかかります。ユルもまた空を見上げていないとやりきれない。地上の現実の重さを知ります。自らポラリスとなって**誰かを導く星**になる覚悟がユルにも芽生え始めます。

アリとダンテ、宇宙の秘密を発見する

Aristotle and Dante Discover the Secrets of the Universe.

作者 ベンジャミン・アリーレ・サエンズ
翻訳者 川副智子
出版社 小学館
発行年 2023年8月
ISBN 978-4093567442

review



テキサス州に暮らす**メキシコ系アメリカ人**のアリは、強気でありながらも物事を考えがちな少年でした。あまり品の良くない自分の住む地域コミュニティには馴染むことができず、**孤独**を託っています。ベトナム帰還兵の父親は心を閉ざしたままで、刑務所に収監されている兄についても自分に分かされることがなく憂鬱の種になっています。そんな折、アリはブルーで、ダンテという少年と出会います。コミックや詩や絵を描くことが好きで、教養のある両親に育てられたダンテは、これまでアリの**周囲にはいないタイプ**の少年でした。ダンテに好意を持ったアリは、自分が家族について思い悩んでいることを彼に知られることを怖れ、一方でダンテもまた人に知られたくない秘密を抱えていました。二人の孤独な魂は、時間をかけて心を近づけながら、この**宇宙の秘密**に気づいていきます。

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.58

2026年7月1日発行 ●発行人 きむらともお

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト「ハコブネ×ブックス」(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第6回児童文学評論新人賞佳作、諸々を受賞。



お問合せはこちらから。